

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（北浜小）学校運営協議会

<本年度の目標>

令和7年度の学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」の具現化を目指し、学校、保護者、地域、関係機関等と連携し、子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指して熟議をしていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

校長から提示された経営方針やランドデザインの説明を通じ、学校の目標と抱える課題を委員全員で共有することができた。これにより、学校運営協議会として「つながる」をキーワードに、学校側のニーズに応じた具体的な支援活動について、実効性のある熟議を行うことができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学年主任が各学年の経営方針を委員へ直接説明したことで、教員と委員の意識が一つになり、支援の方向性がより明確化された。また、学校支援活動における課題の共有や、活動の継続・拡大に向けた前向きな協議を重ねた結果、支援内容のさらなる充実へとつなげることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校が抱える課題は多様化・複雑化の傾向にあり、学校のみでの解決は困難であるため、地域社会全体で解決に向けた気運を醸成していく必要がある。今後は「地域と協議する」という視点をさらに強化し、地域全体で子供を育てる環境づくりのため、より一層の情報発信に努めていきたい。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

学校経営方針「こどもとおとながつながる学校」のさらなる具現化を図り、地域全体で連携を深めながら、子供たちにとってより安心できる居場所づくりを目指して引き続き活発な熟議を展開していく。